

平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.185

2021. 3. 1

発行：平和憲法・9条をまもる
岩手の会 実務者会議

連絡先 県生協連・県消団連

TEL 019-684-2225

FAX 019-684-2227

平和への想いをまとめ「15周年のあゆみ」作成

～「中津川九条をまもる」会～

「中津川九条をまもる」会は、2005年5月に発足して、15周年を迎えました。これまで憲法9条を守ろう！戦争反対！の心を一つに、会をすすめてきました。発足当時、会の方々が9条署名と合わせて戦争体験の聞き取りをしようと、つつじが丘地区で全戸訪問しました。あの時体験を話して頂いた方々は、もう誰もいないそうです。戦争体験を語り継ぐ事がいかに大切かしみじみ感じ、体験談として残し、「戦争体験を語り継ぐ会」も開催してきました。



今年は、新型コロナウイルス感染防止のため、集いも中止にしました。であれば、何か形に

残したいと思い、会員の方々に呼びかけて、皆さんの想いをお寄せ頂き、保存していた写真とコメントを入れてまとめ、15周年のあゆみを作成しました。

戦争をしない平和な未来を子どもたちに残すために、これからもつながりを大切に会をすすめていきたいと思います。（本多多津子）



2つの写真は、昨年開催した『14周年のつどい』の様子

菅政権はアウト！レッドアクション実施 ～ピースアクションいわて～

第204回通常国会が1月18日に開会しました。今国会で早々と成立した第三次補正予算は、総額19.2兆円のうち、コロナ対策費はわずか4.3兆円。さらに感染症法や特措改正には罰則や過料を導入し成立を強行しました。



新婦人、いわて労連女性部、いわて女性・九条の会、母親大会連絡会、岩商連女性協の女性5団体で構成する「ピースアクションいわて」では、2月3日の昼休み時間に、盛岡地裁前で“菅政権アウト！レッドアクション”を実施。寒風の中14人の女性たちが参加し、スタンディングとリレートークを行いました。

“コロナで職を失った女性たちは90万人、生活苦で自殺者も増えている” “このままの状況でオリンピック・パラリンピックは開催できるのか” “スガ（方言で氷のこと）が融けたらどうなる？・・・（春になる）” 統治能力のない菅首相の退陣を願う発言

も出て、政治の春をよぶような元気なコールを響かせました。

3月は、“ひなまつりアクション”として宣伝行動をする予定です。

「9条改憲NO！改憲発議に反対する全国緊急署名」（2月末現在）

岩手の署名数 2万2千筆（全国では105万5千筆）

平和への思いを一句「川柳コンテスト」開催

～ 一関九条の会ほか ～

最優秀賞

九条の
鎖で平和
繋ぎ止め

毎年平和の文化祭として、絵画・写真・陶芸など平和作品展や憲法前文暗唱・朗読大会などを開催していた「ピースフェスタいちのせき」（同実行委員会主催）は、新型コロナウイルス感染予防の観点から、今年度は「平和川柳コンテスト」のみを実施。実行委員会は招集せず、応募された作品を審査員の先生に送付し、審査していただきました。

第4回を迎えたコンテストは、おかげさまで大分応募が増え、47人・92句（去年は37人・74句）が集まりました。昨年応募がなかった小・中学生部門にも応募があり、応募作品のレベルも向上しているように感じます。

憲法の国民主権、民主主義、平和主義の価値を理解していない旧・現政権下で、皆訴えたいことがたくさんあり、それを考え抜いた自分の言葉で表現していることが素晴らしいと思いました。

最優秀賞：九条の 鎖で平和 繋ぎ止め

優秀賞：九条は 不戦の誓い 永久（とこしえ）に

優良賞：九条は きっと輝く ノーベル賞

審査員特別賞：平和こそ みんなの力で 守るもの

コラム＝ - コロナ禍のなか、恐ろしい“考え方”の法律改正！ -

改正コロナ特措法が2月3日成立、13日施行されました。まん延防止等重点措置と過料が新設されたのが特徴でしょう。

「支援策と行政罰をセットにしてより実効性を高めるものだ」と菅首相はその意義を強調、また、官邸筋は「まん延防止措置の新設はとりわけ意義深い」とも強調とのことであります。

しかし、「支援策と行政罰をセット」と言っても菅首相の「防止」の失敗の「ツケ」を国民の方に回し、国民を罰しようとするものではないのでしょうか。許されません！

また、「まん延防止措置の新設」とは言っても法律上その要件規定はなく、政令に委ねられています。政権と政府の一存で定められることとなります。さあ、どうなるのでしょうか。

このことについて、自民党議員の発言に留意することが必要だと思います。自民党議員同士の会話で「戦前の『予防拘禁』（治安維持法）のようになってはいけない」とか、報道番組で元厚労大臣が「コロナ対策と言っても平時の議論では駄目であり、有事の議論でなければならない」とか堂々と発言しています。

コラム子は自民党議員の発言に「恐ろしさ」を感じます。彼らは菅首相や政権に代わって「自民党憲法改憲草案」の、戦前あった「緊急事態令」や「非常事態令」を想定していることの「恐ろしさ」です。

コロナ禍のなかでも、改憲勢力・自民党の「改憲執念」をしっかりと見ましょ。私たちは正しい歴史認識を添えて、「日本国憲法を守れ！」と声をあげてゆきましょう。(T)

3月の街宣署名活動は

9日(火)12:30～13:00

盛岡市大通・野村證券前※荒天中止

3密を避け、宣伝行動を中心にしながら、「改憲発議に反対する全国緊急署名」を呼びかけます。

ご都合のつく方は、是非ご参加ください！

